

ドリームちゅうおう

3

DREAM CHUOH
MARCH 2023
No.302



特集

合併25周年式典を 開催しました

今月号の CONTENTS

02 特集

04 地域情報発信室

05 青壮年部・女性会の活動紹介& トピックス

14 直売所探検隊「楽市楽座」

15 あなたもチャレンジ! 家庭菜園

16 JA information

17 読者からのお便り紹介

18 投稿者からの声 & 暮らしをうたう川柳

19 シェフ永井のおすすめ

20 クロスワードパズル





JA鳥取中央合併25周年 協同の力で更なる飛躍

大会では、JAに多大な貢献をした18人に功労者表彰を授与。他にも、優良農業者、優良団体、優良農業者（表彰者は以下の通り）を行った。また、前回20周年記念式典を行った2018年以降の5年間を振り返り、報告を行いました。

梨浜町のアロハホールで合併25周年記念大会を行い、生産部や女性会、青壮年部などの各組織代表、平井伸治鳥取県知事や中部管内の市町長など約250名の関係者の皆様に出席をいただきました。



2023年2月1日、JA鳥取中央は皆様のおかげをもちまして25周年を迎えることができました。翌日には、湯





生田智之さん



藤井義人さん



高塚哲也さん



唐崎大義さん

そして決意表明として、果樹部門から唐崎大義さん、園芸部門から高塚哲也さん、耕種部門から藤井義人さん、畜産部門から生田智之さんが10年後の農業・地域づくりに向けた決意を發表しました。

記念講演では「協同組合と組合員対話活動の必要性」をテーマに日本協同組合連携機構（JCA）基礎研究部長の小林元さんが、元気なJAを築くポイントなどについて解説しました。続いて雑誌『家の光』で「こころ亭久茶の相続&マネー講座」を連載している木崎海洋さんが「相続と終活」をテーマとした落語を披露し、会場を沸かせました。



表彰者

〔敬称略・順不同〕

【功労者】

福山 巖 (北栄町)

永田 芳和 (北栄町)

河野 澄人 (倉吉市)

山口 眞澄 (三朝町)

中山 栄 (琴浦町)

中本 和夫 (琴浦町)

井本 泰夫 (湯梨浜町)

亀崎 雅文 (倉吉市)

長田 正博 (琴浦町)

福田 佳人 (倉吉市)

岸田 美智雄 (倉吉市)

西谷 竹志 (湯梨浜町)

前田 勝治 (湯梨浜町)

神崎 昌介 (湯梨浜町)

山本 重光 (北栄町)

岡本 貴光 (倉吉市)

竹本 典行 (琴浦町)

岩本 康二 (琴浦町)

三谷 康二 (琴浦町)

吉本 哲明 (北栄町)

長谷川 満輝 (倉吉市)

鳥飼 雄太郎 (倉吉市)

【優良農業者特別表彰】

鳥飼 雄太郎 (倉吉市)

【優良団体】

琴浦梨生産部

柿生産部

琴浦白葱生産部

養豚生産部

発信室

常に向上心を持つ人たちに
囲まれているから
自分も向上できるのだと思う



今回の「地域情報発信室」は「劇団星のふる町」のメンバーで音楽劇や朗読劇など、舞台を通じて地域に密着した活動をしている山根幸子さんです。

中学生の頃に体験した生の演劇に感銘を受けたことがきっかけで役者を志すようになったという山根さん。中学1年の時にはすでに地元の劇団に所属し、稽古を重ねる中、一年後には初舞台を経験していたといいます。「子どもの頃から女優さんに憧れていたので、生の芝居を見た時はとても感激

しました。開演前の緊張感やホール全体の雰囲気など、全てに魅了された感じでした」と当時を振り返ります。「役者として活動するようになって20年以上たった今でも、心で演じる演技を見ると心が動かされます。自然体が1番の演技だと思っているので、頭で考えるよりも気持ちで動くことを大切にしています。役者としてキャリアを積んでいくと、役へのハードルが上がってプレッシャーが大きくなりますが、自分と向き合い、無事フィナーレ

を迎えた時には「幸福感」と「達成感」でそれまでの苦労は全て報われたような気持ちになりますね」と生き甲斐でもある「演じること」への想いを話します。「常に向上心を持つ人たちに囲まれているから、お互いが刺激を与え合いながら自分も向上できるのだと思う」と共に意識を高め合う劇団仲間について話す山根さん。演じる上で1番大事にしているという「お客さんへ笑顔と感動を届ける」ためこれからもがんばって下さい。応援しています。



「えんとつ町のペペ」でローラを熱演する山根さん(右)

やまね
山根
(倉吉市)

さちこ
幸子 さん

「劇団星のふる町」をご紹介します!

星座のように舞台を通してみんながつながり、一つ一つの星たちのように、一人一人の個性がより輝く場所を目指しています! 県下より10代~30代の様々な世代のメンバーで活動を盛り上げていきます。

公演等、詳しい情報については公式インスタグラムで!

Instagram公式アカウント
https://www.instagram.com/t_star_musical/?hl=ja



劇団員の皆さん





女性会

各支部の活動を 紹介します!!

青壮年部



2/16 第10期女性大学ルミナール ～三朝神倉大豆で豆腐作り～

J A鳥取中央は第3回女性大学ルミナールを倉吉市で開き、受講生11人が参加しました。

三朝町の特産品「三朝神倉大豆」を3.5kg使用し、水をきった豆を豆すり機に入れ、水を入れながらすり潰したり、豆乳を絞り袋に入れて圧搾機で絞る作業などを全員で協力し合いながら行いました。受講生たちは、出来上がった豆腐を見て「食べるのがもったいない」と笑顔で話していました。

戸田勲常務がJ Aをより身近に感じてもらうと、J A事業についての説明も行い、受講生は、J Aが取り組んでいる様々な事業について理解を深めました。



豆腐作りの様子

新役員を紹介します

J A鳥取中央青壮年部では、2月16日に倉吉市のJ A本所で第25回通常総代会を開き、事業計画や青壮年部組織推薦理事の推薦、役員改選を行いました。

役員改選では、委員長に倉吉支部の大田忠敏さんが就任しました。

盟友が力を合わせ、次世代のリーダー育成や支部間交流をはじめ、各支部で工夫しながら地域とのかかわりを大切に活動していきますので、一年間、よろしくお願いします！



新委員長に就任した大田さんです！

topics

2/1 第18回大栄ミニトマト部会生産者大会



挨拶をする清水勝利部会長

J A鳥取中央大栄ミニトマト部会は、北栄町で第18回生産者大会を開き、生産者、J A関係者など約20人が参加しました。総会では、令和4年度事業報告や令和5年度基本方針事業計画などを協議し承認しました。

令和4年度は、出荷量1万7,457ケース（前年比101%）、販売金額3,862万円（前年比109%）、平均単価2,212円（前年比109%）で好結果となったことを報告。講師として東伯農業改良普及所の石原俊幸さんが迎えられ「トマトの病害虫防除について」と題した講演も行われ、参加者は農薬の適正使用について知識を深めました。

1/26 「がぶりこ」単価・数量ともに計画以上に 琴浦西瓜生産部総会



琴浦西瓜生産部は琴浦町で総会を開き、10aあたり販売金額が135万5,332円、販売金額が1億2,441万円だったことを報告しました。

同部は黒皮で糖度が高く種が少ないスイカ「琴浦がぶりこ」と縞スイカ「琴浦のきらり」を栽培。22年産は2品種ともに特中心で大玉比率が高い結果に。「きらり」は秀率が昨年より下がり、平均単価が下がってしまいましたが、「がぶりこ」は平均単価が好調に推移し、1箱当たりの平均単価が4,448円（計画対比106%）出荷数量1万9,471箱（同111%）と、単価、数量ともに計画以上の実績となりました。

2/6 目標達成へ一丸 共済推進大会開催



各支所の代表者が今年の意気込みを発表しました

J A鳥取中央は倉吉市のJ A本所で共済推進大会を開催し、令和5年度の共済推進目標の必達に向け、一丸となって取り組むことを確認しました。栗原隆政組合長は「4年度は目標をなんとか達成することができた。推進の努力をすることによって、組合員の役に立つことにつながるため、全力で頑張ってもらいたい」と職員を激励しました。J A鳥取中央では過去5年間で、「ひと」・「いえ」・「くるま」合わせて320億円の共済金をお支払いしています。今年度も、組合員の方々のライフステージやニーズに応じた保障を提供できるよう役職員一丸となって取り組んでいきます。

2/1 子ども食堂へ農畜産物引換券を贈呈



贈呈式の様子

J A鳥取中央は、社会貢献活動の一環として倉吉市社会福祉協議会へ同J A管内の直売所5店舗で使用できる農畜産物引換券を贈呈しました。

地域の子どもや若者、高齢者に新鮮な地元の農畜産物を知ってもらおうと平成30年から取り組んでおり、今回は、同協議会を通じて子ども食堂「ほっとここ」、「テラハウス」、「子ども料理教室（福吉児童センター）」、「パッチワーク」の4施設へ進呈されました。

現在、新型コロナウイルスの影響で活動を休止している子ども食堂もありますが、今後も継続して農畜産物支援を行っていきます。

2/7 営農指導事業成果発表会



スマート農業について発表する安部さん

J A鳥取中央は、倉吉市で2つの営農センターから選出された代表4人による営農指導事業成果発表会を開きました。

営農指導事業の機能・体制の強化と営農指導員のレベルアップを目的に開催され、発表者たちは、持ち時間の20分間で令和4年度に取り組んだ成果や今後の課題を発表。農業振興の成果や実施方法の適切性などを審査した結果、中央営農センター栗原さんと安部陸也さんが選ばれました。

安部さんは「この発表会を通じて、J A鳥取中央の特産品の魅力をたくさんの人に届けられるようがんばりたい」と話しました。

選ばれた2人は、3月3日に行われた県大会に出場し優秀賞を受賞しました。

2/3 シャインマスカット販売好調 北条支所ぶどう生産部総会



生産者、JA関係者など約60人が参加しました

北条支所ぶどう生産部は、北栄町で総会を開きました。優良生産者表彰では、優れた技術と優秀な成績を収めた生産者3名に表彰状を贈りました。

4年度は6月に高温が続き着色不良で出荷数量が減少しましたが、販売が好調に推移。新たに作成した進物箱（2kg）などが有利販売につながったと分析します。総出荷数量は151.8tで1億9,807万円の販売で終了。主力品種のシャインマスカットは45.3tを出荷し、販売金額は前年実績比2,043万円増の7,465万円でした。石宝梅市部長は「今後も他産地に負けない高品質なブドウを作りたい」と意気込みました。



記念撮影を楽しむ参加者

2/11~14

HOKUEI FLOWER VALENTINE
ヘアアレンジメントワークショップ

大栄花き部会は北栄町で、株式会社花工房あげたけと連携し、身近な人に「花」と「笑顔」で感謝を伝えるイベント「HOKUEI FLOWER VALENTINE ~ヘアアレンジメントワークショップ~」を開催し、同町が花の名産地であることをPRしました。同部会は、バレンタインにちなんでチョコレート色のストック「ヴィンテージブラウン」の生産に挑戦。参加者たちは、様々な花材を使って制作したオリジナルのヘアアレンジメントを頭に飾り、用意されたフォトブースで記念撮影を楽しみました。特典として、ワークショップに参加した30人に北栄町産の切り花ストックを使ったブーケをプレゼントしました。

同部会の平信誠史部会長は「この機会にたくさんの花に触れてもらい、心豊かに楽しい時間を過ごしてもらいたい」と話しました。

2/8~15 管内10カ所で地区座談会開催



久米関金地区の座談会の様子

J A 鳥取中央は、各地区で地区座談会を開き、4月のJ A 総代会に向け令和4年度の事業報告や5年度の事業計画などを役員が生産者組織の代表や総代に説明しました。

持続可能な農業の基盤づくりとして、みどりの食料システム戦略を活用した取り組みを行い、農業のグリーン化を推進していくことや、大栄西瓜選果場と倉吉西瓜選果場を整備し、スイカの販売額40億円を目指していく計画を説明しました。

J A の栗原隆政組合長は「持続可能な農業振興には、組織や経営の基盤が盤石でないといけません。J A の経営環境やJ A 事業に対し、組合員との共通認識を深め、組合員の意思を反映させていくため対話訪問活動をこれまで以上に実践していく」と挨拶しました。

2/11 学生がイチゴ収穫で援農ボランティア



みんなで協力してたくさん収穫しました

J A グループ鳥取農業労働力支援協議会は、北栄町で大学生を対象としたイチゴの農作業ボランティアの体験ツアーを開きました。本年度8回目となる援農支援には、鳥取看護大学と鳥取短期大学の学生17人が、イチゴを栽培する北栄ドリーム農場で、県オリジナル品種「とっておき」や「紅ほっぺ」の選別作業やハウス内の除草など、約3時間の作業を担いました。

参加した鳥取看護大学看護学科1年の高田桃朱さんは「ミニトマトの収穫体験に続いて2回目の参加。今後は梨の収穫体験もやってみたい」と笑顔で話していました。

2/8 大栄西瓜 21年ぶり22億円突破 大栄西瓜組合協議会総会



令和5年度の販売計画を承認しました

大栄西瓜組合協議会は、北栄町で総会を開き、令和5年度の販売計画などを決めました。4年度の販売実績は出荷数量59万5,000箱（1箱15.5kg）、販売金額22億3,800万円、平均単価3,761円となり、21年ぶりに22億円の大台を達成しました。

4年度は、糖度や食味が良好で大玉に育ったうえに、関西や県内のスーパーなど延10店舗で販売促進イベントを行ったこともあり、順調に販売が行われました。また新たに動画やパンフレット、シールを作成し、情報発信を強化していました。

山脇篤志会長は「今年度も生産者が一丸で生産振興に取り組み、高単価を持続させたい」と話しました。

2/2 和子牛初セリの開催



初セリ開始前の来賓挨拶

J A全農とつとりは令和5年の初セリとなる和子牛セリ市を開催し、県内外より集まった88名の購買客が263頭取引しました。計画では1月26日の予定でしたが、1月23日からの豪雪の影響により1週間遅れての開催となりました。

全国的に飼料代や電気代などの生産コストの高止まりに加え、枝肉相場が下げ基調で推移しているなか、鳥取中央市場の平均価格は、去勢子牛で619千円（前回比83%）、雌子牛で661千円（同比103%）、総平均638千円（同比92%）と去勢価格を大きく下げ、厳しいスタートとなりました。

和牛生産部の内山茂昭部長は「今後も同様の傾向が予想されますが子牛育成マニュアルに沿って、エサをよく食べ発育の良い子牛が出荷できるようがんばりたい」と話しました。

2/13 新嘗祭供御献穀齋田 種子引渡式



抜き穂引き渡しをする馬田さん(左)と河野さん

新嘗祭に献上する献穀米の種子引渡式が倉吉市役所で開かれ、広田一恭倉吉市長や竹口大紀大山町長、J A関係者など約20人が参加しました。新嘗祭は、穀物を神に捧げて収穫を感謝し、豊穰を祈願する古くからの祭儀で、宮中恒例祭典の中でも最も重要なものとされています。

式では、令和4年度の奉仕者、倉吉市の河野正人さんが大山町の馬田雄一郎さんへ献穀米「星空舞」の種子と抜き穂を引き渡しました。

馬田さんは「地域の皆さんの協力を仰ぎながら、秋の献穀に向けて精一杯頑張りたい」と話しました。

2/15 椎茸生産部総会



西澤さんによる講習会の様子

椎茸生産部は、倉吉市で第16回通常総会を開き、生産者、行政、J A関係者約20人が参加しました。

令和4年度事業報告や5年度事業計画などを承認し、原木しいたけの生産量増大と生産者の確保や、良品生産による経営の安定を目指すことなどを全体で確認しました。

総会終了後には講習会が行われ、（一財）日本きのこセンター所長代理の西澤則之さんが椎茸の生産状況について、J A全農とつとり園芸部園芸課の三好史紘さんが令和4年度乾燥椎茸の販売概況などを報告しました。

2/14 バレンタインデーにチョコをプレゼント



感謝を込めてプレゼント

中部管内のJ A直売所「旬鮮プラザ満菜館」と「ハワイ夢マーケット」、「あぐりポート琴浦」は、バレンタインデー企画としてチョコレートなどの詰め合わせをプレゼントをしました。

同店の店員が日頃の感謝の気持ちを込めて、手作業で袋詰めしたお菓子を準備。来店した出荷者やお客様に心を込めて笑顔で手渡しました。

満菜館の杉原秀寿店長は「物価の高騰が続く中、お菓子のプレゼントで少しでも気持ちが明るくなってもらえたら嬉しい」と話しました。



2/17 新規就農者受け入れ強化を承認 琴浦ミニトマト生産部総会



高塚部長の挨拶を聞く部員

琴浦ミニトマト生産部は琴浦町で総会を開き、約40人が出席しました。同部の令和4年産の販売結果は栽培面積10haで、299.5tの出荷、2億970万円で終了しました。来年度の取組として高塚哲也部長は3つのことに重点を置くと挨拶。そのうちの一つに新規就農者の受け入れの強化をあげ、就農を希望する人を対象にした相談会「農業人フェア」で生産部のブースを出したり、町と協力して2泊3日の農業体験を企画していきたいと話しました。同部は、本年度も安全安心な農作物を作るため栽培基準に基づいた管理を徹底することを承認。販売金額3億円を目指すことを決めました。

2/3・22 役員による意見交換会



農大の生徒からの質問に答える栗原組合長(右から3番目)

J A 鳥取中央の栗原隆政組合長は22日、倉吉市で創立95年目を迎える県立農業大学の記念式に出席し、卒業後に就農する学生4人と意見交換を行いました。栗原組合長が営農指導員としての経験をもとに、生徒たちの就農への疑問や不安に対して様々なアドバイスをし、担い手としての心構えなどを伝えました。意見交換会終了後、参加した全生徒約40人へ向けて「助け合える仲間をたくさん作って、経験から得た情報を交換しながら栽培技術を向上させてほしい」とエールを送りました。

3日には、蔵増保則専務が同市で大原トマト生産者の柴田俊則さん、柴田行紘さんと面会。「新規就農者の獲得」や「販売促進の強化」などに取り組んでいくことを確認しました。



1株ずつ丁寧に植える杉本さん

2/17~3/3
スイカ「とまり美人」
管内で1番に定植

泊西瓜部会は、湯梨浜町でブランドスイカ「とまり美人」の定植作業を行いました。就農1年目の杉本直耶さんは初日、20cm程度に育った苗を200株植える作業に汗を流しました。2月から栽培を始めるため、ハウス内に2重のトンネルを作り30度近い地温を確保するそうです。杉本さんは「1年目なので基本に忠実に、先輩や他産地に負けないようなスイカを作りたい」と意気込みました。同部会は5戸が1haで栽培。3,000ケース(1ケース15.5kg)の出荷と、1,200万円の販売を目指します。

2/22 第20回通常総会 東郷果実部



受賞者の皆さん

東郷果実部は、湯梨浜町で第20回通常総会を開き、生産者、行政、J A関係者など約90人が出席しました。

令和4年度の実績は、全品種合わせて出荷量21万6,000箱(1箱10kg)、販売金額11億4,560万円だったことを報告。令和5年度は、コロナ禍の影響で3年間自粛していた対面による商談や量販店での試食宣伝などを開催し、東郷梨ブランドの維持に取り組むことを確認。20万箱(同)、11億円の出荷販売を目指します。

同J Aの栗原隆政組合長は「さらに協同と結集の力を強め、一丸となって有利販売に向けて取り組んでいく」と述べました。

家の光

5月号

JA鳥取中央が 紹介されます



▲生産者さんも重たいと話す花束をよしこさんは軽々持ち上げられました！

▼ガンバレレーヤのお二人が頭につけているのは、地元の花屋「花工房あげたけ」さんがオリジナルで作られた髪飾り。ピンクと黄色のイメージカラーのお花でとてもかわいかったです！



▲お二人のおかげでたのしい撮影となりました！

初めに大栄花き部会を取材。ハウス内では同部会が育てるストックが咲き誇り、2人はストックのいい香りへと魅了されているよう

に！各支所の組合員課や本所生活課から予約できます。

人気お笑い芸人のガンバレレーヤさんが、『家の光』の取材で北栄町を訪れました！大栄花き部会が育てるストックや北栄ドリーム農場が栽培するイチゴのハウスに向き、生産者さんに栽培方法を質問したりイチゴの試食をするなどしてJA鳥取中央の特産品への理解を深めていただきました。今回の様子は、『家の光』5月号の「農のチカラ再発見」というコーナーに掲載されます。

でした。取材では部会員が膝まずきながら花を2人に差し出し、プロポーズをしているかのような写真などを撮影しました。そして、北栄ドリーム農場では、「紅ほっぺ」と県オリジナル品種「とつておき」を収穫して食べ比べ。2人はどちらのイチゴも美味しー！とすごく喜んでおられました。特に「とつておき」の特徴の上品な甘みに舌鼓を打っていました。県出身のまひるさんは「大栄が西日本一番のストックの産地だとは知らず、誇らしい気持ちになりました。すぐきれいで美しかったので、この紙面をとおして全国の人に知ってもらいたいです」と話されました。



▲真っ赤に実ったイチゴを収穫！

▼よしこさんは油断したらハウスのイチゴを全部食べてしまいそうでしたが、職権濫用だと思い我慢したそうです



▲光合成を促すCO₂発生装置についても勉強しました！



大栄花き部会の役員のみなさんと



北栄ドリーム農場のみなさんと1・5（イチ・ゴ）ポーズ

2/28 【全国初】青果物販売担当職員 市場との交渉をロープレ大会で競いました



普段は電話で交渉するため、今回も顔を合わせず電話している様に行いました



左から中家さん、山田さん、後藤さん

JA鳥取中央の農産部販売課は、倉吉市のJA本所で青果物販売職員ロールプレイング大会を開催しました。今大会は全国のJAで初の試みです。職員7人が参加し、市場と自身が担当する品目の単価や出荷量の取引についての交渉技術を競いあいました。審査員には、同JAの戸田勲常務、鳥取中央青果の蓮佛和也常務取締役、ロープレの市場役には同果実課の三橋幸人課長を招き、本番さながらの空気感の中開始。

営農担当職員の中でも青果物販売職員は、取引市場の仕切り単価が生産部、生産者への手取りに直結することから、個人の能力が必要とされる大事な仕事を担っています。そこで、個のレベルアップや交渉スキルの共有を図るため、新人から中堅まで幅広い年代の職員が参加しました。交渉説例として、担当品目が全国的に豊作で、荷動きが停滞し、仕切り単価が下がった場面を想定。それぞれ次の需要期で単価をあげるよう説得したり、他産地の情報を収集し有利販売になるように情報提供をするなどして奮闘しました。

結果は、最優秀賞に山田知希さん（中央営農センター）、優秀賞に中家裕基さん（北栄営農センター）、優良賞に後藤慎司さん（中央営農センター）、新人特別賞に田中陽菜さん（北栄営農センター）が選ばれました。山田さんは、店頭での販売単価を見据えていたポイントが評価されました。

戸田常務は「役職員が知恵を出し合い、初めて開催することができた。販売における企画力、交渉力などを向上させ最大手取りを目指していきたい」と話しました。

生産者の皆様へ「堆肥価格改定」のお知らせ

日頃より、みどり有機工場が製造する堆肥をご利用いただき誠にありがとうございます。

さて、みどり有機工場で製造・販売しています「混合堆肥」「一次堆肥」等は平成30年より販売価格を据え置いてまいりましたが、昨今の原油価格・電気代等の生産コストの上昇等を踏まえ令和5年4月1日より販売価格を改定することとなりました。

今後とも、みどり有機工場では皆様のご期待に応えるべく、良質な堆肥を製造・販売していく所存でございます。ご利用者の皆様方におかれましては、何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、袋堆肥につきましては従来価格で販売いたします。

価格改定実施内容(令和5年4月1日より) ※消費税別

商品名	単位	改定前	改定後	改定幅
混合堆肥(完熟堆肥)	1 t	3,500円	4,000円	500円
一次堆肥(未熟堆肥)	1 t	2,000円	2,500円	500円
配達料金	1 台	1,200円	2,200円	1,000円
散布料金	1 台	2,400円	2,900円	500円

(例) 散布までの一連の作業では、10aあたり(2 t/10 a)
旧価格10,600円+消費税⇒新価格13,100円+消費税となります。

2/27 「安全安心な農作物づくり」検査委員会



記入漏れや間違いがないか漏れなく確認

JA鳥取中央は、倉吉市のJA本所で「安全安心な農作物づくり」検査委員会を開きました。JA職員の他に、東郷果実部の寺地政明部長、白葱生産部の井上寿樹部長、ラッキョウ生産部の天野英次部長が参加。委員会では、生産者と消費者との信頼を構築するため、年一度、トレーサビリティチェックシートを基に栽培日誌が正しく記録されているかを1枚1枚検査しています。

農産部の木下拓也部長兼販売課長は「検査委員会を通して、JAの取り扱う農産物が、適正な管理の元、栽培されているのか検証を行い、生活者の皆様へ日々、安心して食べていただけるよう、今後も取組を継続します」と話しました。

2/24 三朝神倉大豆味噌の製造委託契約を結びました！



契約書を手にする栗原組合長(左から2番目)と小西取締役(左から3番目)

J A鳥取中央は、生産者や行政と連携し、三朝町の地大豆「三朝神倉」を使用した味噌を開発しました。

今回、商品化される味噌は地大豆の甘みのあるまろやかな風味が特徴。また、食材にこだわり同町特産の米「きぬむすめ」を使用しています。錦味噌で有名な「有限会社 小西本店」と昨年の7月から検討を重ね、鳥取県中部で好まれる味噌の組成分析や試食会を経て、今年の秋頃の完成を予定しています。同JAは、平成21年に豆腐「神のはな」、24年に納豆の「神のつぶ」、豆乳「神のしずく」、27年に水煮「神のつぶみ」、29年には初のスイーツとして大豆あんを使用したどら焼き「神の笑み」を商品化。同JAを代表する特産品としてブランド力の向上を目指します。

2/24 いきいき農業塾



栽培の基礎知識を説明する前田さん

J A鳥取中央は2月期いきいき農業塾を倉吉市で開き、塾生12人が参加しました。

倉吉農業改良普及所より前田香那子副主幹を講師に迎え、「専業農家が実践する栽培のポイント」と題した座学が行われました。西瓜の栽培方法を例に挙げ「畝たて」や「定植」、「収穫」までを動画を使ってわかりやすく説明。塾生たちは、高品質な農産物の栽培に必要な基礎知識を学びました。ほ場の確認として、排水性や土壌分析の説明も行われ、野菜を育てるのに適した理想の土づくりについても知識を深めていました。

2/28 BSよしもと J A鳥取中央 VS J A鳥取西部



鳥取県住みます芸人「ほのまる」(前列)と参加者たち

J A鳥取中央は北栄町で、J A鳥取西部と共にBSよしもとのテレビ番組「Cheeky's a Go Go !」内のコーナー「となりマッチ」に出演しました。

東京のスタジオと中継を繋ぎ、吉本興業のお笑い芸人と共に地元の魅力を発信。J A鳥取中央はストック、イチゴ、三朝神倉大豆を、J A鳥取西部は白ネギ、ブロッコリー、GABA米といった自慢の特産品を持ち寄り、対戦形式でPRを行いました。結果は引き分けとなりましたが、参加した大栄花き部会の平信誠史部会長は「とても良いPRができた。今後も大栄ブランドの促進を図り、販路拡大につなげていきたい」と話しました。

2/24 鳥取梨づくり大会



琴浦町の足立さん夫婦。おめでとうございます！

県やJA全農ととりは倉吉市で、鳥取梨づくり大会を行いました。

梨の生産拡大をめざし、経営の改善や技術の向上を図ることを目的に開催し、生産者など約100人が出席。梨ジョイント栽培の技術開発と普及に尽力した生産者を表彰する第2回鳥取県梨ジョイント栽培コンクールに琴浦町の足立秀樹さん真由美さん夫婦が最優秀賞に選ばれました。

その後、日野郡で梨の栽培を始めた事例発表や鳥取大学田村文男副学長による記念講演で栽培技術の知識を深めました。

女性会の活動

2/11

女性会・家の光大会

J A鳥取中央女性会は湯梨浜町で、第24回女性大会・家の光大会を開きました。女性会会員やJ A役職員など約150人が参加し、持続可能な組織基盤への意識を高めました。体験発表では、同女性会泊支部の松田祥子さんが『『家の光』とともに次世代へつなぐ』と題して発表。記事をきっかけに活動する素晴らしさなど、教育文化活動の重要性を紹介しました。また3年ぶりにアトラクションも再開し、羽合・泊・北条の3支部が創作衣装でダンスを披露し会場を盛り上げました。女性会の遠藤聖子会長は「今後も人をつながる、前向きでわくわくする活動で女性の力を発揮していこう」と呼びかけました。



挨拶をする女性会の遠藤会長



体験発表を行った松田祥子さん



羽合支部の皆さんが披露した「よさこい鳴子踊」

2/17

女性会河北支部さくらんぼの会

女性会河北支部さくらんぼの会は、倉吉市で手芸教室「コットン帽子づくり」を開催しました。参加した会員12人がそれぞれ裁縫道具を持ち寄り、調理や外仕事をする際に便利なコットン帽子を作成しました。同会員が講師となって、近況などを楽しくおしゃべりしながら布にフリーハンドでカーブ線を引き裁断。慣れた手つきで縫い合わせ、ゴムを通してハンドメイドの帽子を完成させました。参加した会員は「久しぶりに手作りの良さと楽しさを感じることができた」と笑顔で話しました。



手芸教室の様子

1/24

給食の試食会を行いました 琴浦学校給食野菜会



美味しく調理された給食をいただきました

琴浦学校給食野菜会は、1月下旬にあった全国学校給食週間に合わせて、琴浦町立浦安小学校の試食会に招待されました。この1週間は、各小中学校の生徒たちが考え作った献立が実際の給食に登場します。今回、食べたメニューは、ごはん、とん汁、スタミナ納豆、ブロッコリーのごま和え（東伯中学校生徒が作成）でした。

同会は、野菜を学校給食に出荷しているため、「自分たちが育てた野菜が美味しく調理されていてうれしかった。これからもより良い野菜を作って子ども達に食べてもらいたい」と喜んでいました。

直売所探検隊



楽市楽座

東伯郡三朝町大柿591

TEL / 43-2286 定休日 / なし

営業時間 / 12月～2月 8:30～17:00

3月～11月 8:30～17:30

こちらに出荷を始めて約30年がたちました。当初は私も若く、30品目近く出荷していました。楽市楽座は旧三朝町農協時代の平成5年に国交省の「道の駅」に指定されて、それ以来のお付き合いです。平成21年、令和4年の14年間は「楽市楽座友の会」の会長としてお世話もさせていただきました。現在は歳を取ってしまい13品目くらいですかね（笑）

55歳の定年退職を期に、父親の農業をバトンタッチされた形です。それまでは自分の家の農業に携わることもなく、すべて父親まかせでしたが、私の仕事で農業資材の会社であったことから、農家の方と話をする機会が多く、この頃



今日はすべて100円です
百均ショップじゃないですけどね(笑)

「道の駅」にある直売所 としての魅力を再発見

かわきた
川北 鉄男さん 三朝町

に作り方などを自然と学び知識が備わったようです。農業をするために必要な、圃場、農機具、知識があった事で、退職後はすんなりこの道に進めたと思います。

今の時期は、小松菜、春菊、水菜、ホウレンソウ、そのあとに大玉トマトそして秋冬野菜と、ハウス栽培が中心に続き、暑い夏場には露地で、ナス、キュウリ、ピーマンなど、年中途切れることなく出荷しています。圃場は、水稲が約90a、畑が約15aあります。そのうち0.5aの田んぼにハウスを1棟建てています。出荷はすべて楽市楽座に卸しています。近いことが何よりですよ（笑）

ホウレンソウは
完売です



直売所情報



直売所では

旬のイチゴ、お彼岸用のお花

など、各種取り揃えております。

みなさまのご来店をお待ちしております！



旬鮮プラザ満菜館 48-2525
楽市楽座 43-2286
あぐりポート琴浦 55-6336

旬鮮プラザよってみたい菜 47-4197
ハワイ夢マート 35-3535

あなたもチャレンジ! 家庭菜園

エンドウ

● 種まき	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 収穫			●									

エンドウは食べる部位により4つの品種に分かれます。サヤを若どりしたもののがサヤエンドウ、柔らかいサヤと豆の両方を食べるのがスナップエンドウ、大きく太った豆を食べるのが実エンドウ、そして柔らかい新芽を食べるのがトウモロコシです。

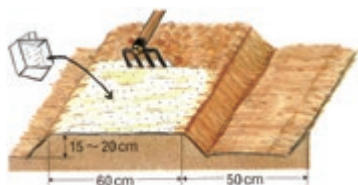
エンドウは、サヤにはビタミン類やβ-カロテンが豊富で、豆にはタンパク質や糖質、脂質が多く含まれており、健康食品と言えます。家庭菜園では、畑の一角で栽培しておきたい品目です。畑が確保できない場合は、プランターでも栽培が可能です。ぜひともその栽培にチャレンジしてみましょう。

栽培のポイント

- 連作障害が出やすいので、前作から4～5年あけて栽培する。
- 酸性に弱いので石灰を念入りに施す。

①施肥

あらかじめ石灰を1㎡あたり大さじ2～3杯散布して耕しておく

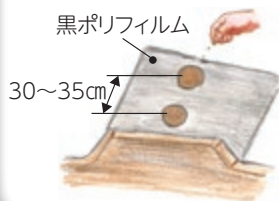


化成肥料はウネの長さ1m当たり大さじ3杯を散布する

②種まき・植えつけ

種は1カ所に3～5粒ずつ播く

覆土は厚すぎないように注意する



発芽がそろったら間引いて2本とする

③追肥

春先にツルが伸びだしたころ、ポリフィルムをめくり肥料を施して土寄せする

第1回
(1株当たり)
化成肥料
大さじ1杯



第2回
(1株当たり)
化成肥料
大さじ1杯



盛んに開花をするようになったら、1回目の施肥の逆側に追肥する。上図のように、フィルムに穴をあけて追肥してもよい

④支柱立て

ツルが伸び始めたら、支柱を立ててツルが風に振り回されないようにする。ネットを設置してツルを這わせると管理・収穫作業が一層容易になる



小枝や笹竹などを立てて支柱とすることでもよい

⑤収穫

手で摘み取るかハサミを使って収穫する



鳥取県「春の農作業安全運動」 3月1日～5月31日

～「シートベルト」「安全確認」はあなたの命を守る～

- ① トラクター乗車時には、「シートベルト着用」や「安全キャブ・フレームの利用」を徹底しましょう。
- ② トラクターに作業機を付けた状態で公道走行する際には、必要な灯火器等を設置しましょう。
- ③ 動力運搬車を発進する時は、「走行レバーの進行方向の確認」と、後退時には「後方や足下の状況を必ず確認」しましょう。
- ④ 集落内の危険な場所や作業を点検し、危険箇所のマーキングや改修、作業上の注意点を確認しましょう。
- ⑤ 季節の変わり目は体調に注意が必要です。日頃から体調管理に気をつけ、体調が悪い時は無理せず休養しましょう。春先の熱中症にも注意が必要です。

しめようシートベルト



鳥取県内で農業機械の死亡事故多発
事前の安全確認の徹底を あなたの大切なものを失う前に

春の農作業安全運動 3月1日～5月31日

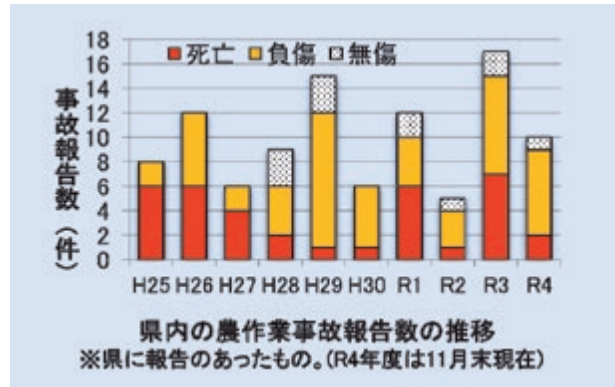
鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会(鳥取県農安協)

STOP農作業事故！！

県内でも農作業事故が多発しています。

全国的に農作業事故は増加傾向にあり死亡事故の割合も高くなっています。

県内でも昨年、10件の農作業事故が発生し、そのうち3件が死亡事故となっています。(県中部でも死亡事故が発生しています。)



普段は大丈夫でも油断や疲れにより突然事故は起こります。慣れている作業でも安全には十分気を付けましょう。

(株)JA中央サービス農業機械

(株)JA中央サービス 自動車センター統合のご案内

平素より格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社におきましては、令和5年3月31日をもって、三朝自動車事業所は業務を中央自動車センターへ移管することと致しました。また、北栄自動車センターは業務を日本海三菱自動車販売(株)倉吉田後店に事務所を構える湯梨浜自動車センターへ移管することと致しました。

今後もお客様へのより良いサービス提供を目指してまいりますので、ご理解の程宜しくお願い致します。

自動車センター新体制(令和5年4月から)

センター名	主な営業エリア	指定／備考
中央自動車センター	倉吉、関金、三朝	指定工場(車検・点検・整備全般)
湯梨浜自動車センター	東郷、羽合、泊、北条、大栄	日本海三菱倉吉田後店内に事務所を置く
琴浦自動車センター	東伯、赤碕	指定工場(車検・点検・整備全般)

※修理対応などはお近くの事業所もご利用できます。

農地や水路の管理を支援します！！

農地や農道の草刈り、水路の泥上げといった作業でお困りではないですか？

「多面的機能支払交付金」は作業の労賃や燃料代を支援していますので、お気軽にご相談ください。

交付単価 3,000円／10a(水田)、2,000円／10a(畑) ※活動内容により、各種加算措置があります。

問合せ先 中部農林局地域整備課 0858-23-3172
 もしくは、お住まいの市町へご連絡ください。
 倉吉市地域整備課 0858-27-0516、三朝町農林課 0858-43-3515、
 湯梨浜町産業振興課 0858-35-5384、琴浦町農林水産課 0858-55-7803、
 北栄町産業振興課 0858-37-3152

お役立ち情報！

JAの傷害共済

日常生活に潜む様々な事故を通院から保障！

ひと保障に入れない方、保障切れの方にも！99歳まで加入できます！

傷害共済

共済の傷害共済は安価な掛金で突然の災害による死亡・後遺障害・ケガに備えて通院日数および部位・症状別に共済金をお支払いいたします。

【ご契約例】

年齢80歳以下、職業区分1級（危険の小さい職業）、死亡共済金300万円、
部位・症状別治療共済金2,000円、10名以上の集団加入、共済期間1年共済掛金
1年間で

6,810円

令和5年1月1日時点

1日あたり
約18円

＜お支払い例①＞

転倒して膝を打撲し、
5日以上通院した場合2,000円×5倍
＝10,000円のお支払い

＜お支払い例②＞

除草中にヘビに噛まれ
5日以上通院した場合2,000円×10倍
＝20,000円のお支払い

＜お支払い例③＞

脚立から落ちて足を骨折し、
入院で治療された場合2,000円×65倍
＝130,000円のお支払い

日常生活における様々な事故によって負傷、死亡された際に保障します。

※職業により加入の制限があります。

※年齢により引受金額等の制限があります。

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。
また、ご契約の際には「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

【22312500249】



詳しくはお近くのJAまで！！

JA鳥取中央
葬祭センターTEL (0858) 47-0983
FAX (0858) 47-0981☎0120-80-9831 通話料無料
24時間受付メモリアルホール
報恩舎〒682-0017
倉吉市清谷町2丁目143
TEL (0858) 47-4300
FAX (0858) 47-4320メモリアルホール
福本〒682-0604
倉吉市福本220-1
TEL (0858) 48-2100
FAX (0858) 48-2101メモリアルホール
あじさい〒689-2303
琴浦町徳万282-13
TEL (0858) 53-1184
FAX (0858) 52-3943毎日のビール、日
本酒、焼酎でどん
どんお腹が出てき
ても我慢できませ
ん。(のぶちゃんさん)楽しいことで我慢
できないのはゲー
ムかなあ〜。つい
ついやってしまい
ます。(メロンさん)花粉による鼻水や
目のかゆみです。
いろいろな薬を試
しましたが、全然
効きません。
(のほほんさん)いくら眠くても、
トイレだけは我慢
できずに目を覚ま
して行くことです。
(どうにも止まらない〜ずさん)空腹の時のおや
つです。これを我慢
すればダイエット
も成功するの
に...。
(さくらんぼさん)読者からの
お便り紹介今月もたくさんのお便り
ありがとうございました。

今月のお題

どうしても我慢
できないこと

を教えてください。

【次号のお題】

「いつかは気付いてほしい
と思っていること」たくさんのお便りを
お待ちしております。1日に30本以上
吸ってしまうタバ
コです。仕事から
くるストレス解消
のため、やめるこ
とが出来ません。
(タバコ中毒さん)孫がいじめに合っ
たりすると、どうし
ても我慢できず何
か解決策はない
かと考えてしまい
ます。(金田さん)子どもの頃から大
好きな「沢庵」。塩
分を控えろと言わ
れても、本当にこ
れだけは食事に
欠かせません。
(牛さん)

投稿者からの声

いろいろな生産者の
活動が掲載されていて、
頑張るパワーがもらえました。
(イチゴのケーキさん)

他県在住ですが、
直売所に出向き
毎号楽しみに読んでいます。
(ようさん)

三朝神倉大豆生産部が、
中国四国農政局から
奨励賞に選ばれたことが
嬉しかったです。
(朝倉さん)

クロスワードパズルが
だんだんと難しくなってきて
いますが、頭の体操として
頑張っています。
(秋田さん)

いつもお世話になっている
JA直売所「ハワイ夢マート」の
記事が載っていて、
身近に感じました。
(そあひりむげまん)

2月号表紙の井上寿樹さんが、
自信たっぷりの表情をされていて、
とても良かったです。
(森岡さん)

暮らそうたう川柳

課題「香」

鈴木 公弘 選

春近しほのかに香る梅の花
加齢臭まずはアロマで消してみる
用足してシュッとスプレーいい香り
春の風香る空気があうまい
絵手紙が春の香りを添えてくる
風誘うハウスいっぱい苺の香
温室の窓から春の香がもれる
下駄の音石けんの香とすれ違う
ふる里の自然恋しい四季香る

湯梨浜町 志田美智子
倉吉市 山崎恵美代
倉吉市 山本 滋
倉吉市 堀 かずこ
湯梨浜町 川口 亜矢
湯梨浜町 谷本 真樹
湯梨浜町 和田 三郎
兵庫県 小田 虎賢
北栄町 西村奈保子

【今月の佳吟】 庭に出て椿の香り身にまとう

倉吉市 徳田 尚志

(評) この句のポイントは大五の「身にまとう」という表現に尽きる。
新型コロナウイルス禍、三年に及ぶ国・県などからの要請に応じてマスクを
着け、不要不急の外出を控えてきた。椿のボトリと落ちる見事な散
り際にわが身を重ね合わせる作品は少なくない。感染症の撲滅に期
待するけれども、歴史を見るかぎり、害をもたらすウイルスが地上
から消えることは考えにくい、いま春陽がふり始めた。抗体を養い、
大地の芳香に包まれながら末永く生きるとしよう。(投句総数57)

※次号の課題は「旅」です。締切3月22日(水)必着

住所、氏名(雅号もフルネームをご記入下さい)、電話番号、作品1人三句以内
を、裏表紙にある応募用ハガキでお送りください。応募をお待ちしております。
ペンネームでの投稿は無効となりますのでご注意ください。

◆今後の課題「母」 締切4月20日(木)予定



シェフ永井 のおすすめ



なが い とも かず
永 井 智 一
茨城県笠間市にある
「天晴(旧キッチン晴人)」
オーナーシェフ

リンゴとホタテのグラタン

材 料(2人分)

ホタテ貝柱……………2個 パルメザンチーズ…適宜
リンゴ……………1/2個 塩、こしょう……………適宜
マッシュルーム……………2個 薄力粉……………適宜
干し柿……………1個 白ワイン……………大さじ1
ホワイトソース(市販品)…大さじ4 バター……………10g

作り方

- (1) ホタテ貝柱は水気を拭き取り、塩、こしょうをして薄力粉を薄く付ける。リンゴは皮をむいて種を取り除き、一口大にカットする。マッシュルームは石づきを取り、縦半分に切る。
- (2) フライパンにバターを入れ、(1)の材料をソテーして最後に白ワインを回しかける。
- (3) 6、7cmほどのココットにバター(分量外)を塗り、(2)と5mm幅に切った干し柿を入れ、ホワイトソース、パルメザンチーズの順にかけ、180度のオーブンで10～12分ほど焼く。
- (4) 耐熱の下皿に(3)を載せ、お好みのハーブ(材料外)を飾り出来上がり。



※キリトリ

●アンケートにお答えください。

「ドリームちゅうおう3月号」良かった記事は?(複数回答可)

- | | |
|--|---|
| ☐ 表紙 | ☐ あなたもチャレンジ!家庭菜園 |
| ☐ 特集 | ☐ 読者からのお便り紹介 |
| ☐ 地域情報発信室 | ☐ 投稿者からの声 |
| ☐ 女性会・青壮年部の活動紹介 | ☐ 暮らしをうたう川柳 |
| ☐ トピックス | ☐ シェフ永井のおすすめ |
| ☐ 直売所探検隊 | ☐ クロスワードパズル |

良かった理由:

●クロスワードパズルに応募される方はお書きください。

(※応募されない方は空欄で構いません。)

「クロスワードパズル」の答え

A	B	C	D	E

※クロスワードの正解者の方には、抽選で「神の笑み(三朝神倉大豆どら焼き)」をプレゼント致します。

●次号のお便りのお題「いつかは気付いてほしいと思っていること」を教えてください。また、「暮らしをうたう川柳」への応募、JA鳥取中央グループに対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

(ペンネーム:)

※ドリームちゅうおう誌面にて発表することがありますのでご了承ください。

※キリトリ

表紙の写真説明

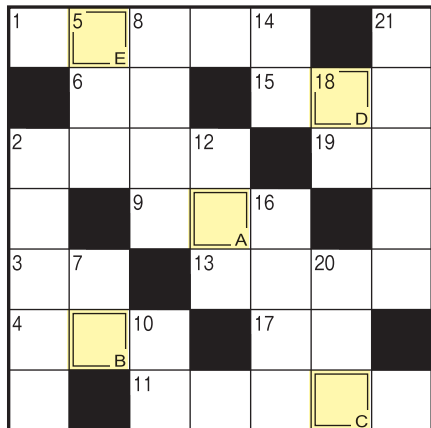


前田良行さんは、倉吉市で新規就農され、スイカ68a、後作でブロッコリー50aの栽培を計画。新規就農といっても、これまではJA鳥取中央の子会社で農業の委託業務を行っている(株)グリーンファーム大黒に10年以上勤務していたため農業スキルがばっちりある方です。そして昨年11月から独立。スイカは作り続けて今年で13年目に突入するそうです。今回は、2月下旬の撮影ということで、定植前のトンネルの骨組みづくりの作業中にお邪魔しました。今まで会社として4、5人で農業していたところから、お1人で作業するのに不安はありますか?と聞くと、「とりあえず一生懸命作ってみます。病気にならないように、細々チェックしてしっかり量がとれるようにしたいです」と意気込んでおられました。定植は3月8日から4月上旬にかけて11回行い、10aあたり700玉の収穫を目指します。前田さんの名前のシールが貼られた倉吉スイカ、店頭に並ぶのが楽しみです!

アタマの体操

今月のプレゼントは
神の笑み(三朝神倉大豆どら焼き)

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



A	B	C	D	E



2月号の答え
イチゴガリ

タテのカギ

- 野球のBSOのS
- 敵ではありません
- 正しい答えに付けるマーク
- 遠くて近きは——の仲
- シオマネキもこの仲間です
- 得意なもの。漢字で書くと十八番
- 体温計を挟みます
- 空弁(そらべん)が売られている所
- 田畑を耕す道具の1つ
- ギリシャ文字の最後の字。Ω、ωと書きます
- 選抜高等学校野球大会の会場です

ヨコのカギ

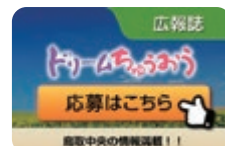
- 唱歌『花』に歌われている川
- 写真などを撮影するための施設
- ラクダやアルパカに似たアンデス地方の動物
- クジラより小さめです
- 4月なのに冷えるなあ、——の戻りかな
- 書類の何も書かれていない部分
- 新1年生の皆さん、ご——おめでとー!
- 爬虫(はちゅう)類は変温動物、哺乳類は——動物
- 1、3、5、7、9……
- 日本人の主食です
- 船を着けます

応募要項

下記「応募ハガキ」に、クイズの答えをお書きの上、応募締切までに切り取ってポストへ投函するか、各支所へお持ち下さい。
※通常ハガキ・FAX・メール・HPからも応募可能です。クイズの答えの他「良かった記事・住所・氏名・電話番号」をお書きの上ご投函下さい。

- 応募締切 3月29日(水) 当日消印有効
- 応募先 〒682-0867 鳥取県倉吉市越殿町1409 JA鳥取中央 広報課宛
- FAX 0858-23-3070
- Eメール kouhou@ja-tottorichuou.or.jp

※当選は商品の発送をもってかえさせていただきます。※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。



HPでも応募できます



情報の力で、
日本農業新聞
支えたい。

中四国版
紙面には、JA
鳥取中央の記事が
随時掲載されて
います！
ぜひご覧ください!!

お近くの新聞販売店
から毎日お届けします。

購読料 月極
2,623円(税込)

購読料 年額
8,782円(税込)

誌代1年分を
年間予約として
購読料をお支払い
いただくと普通月号
1か月分が無償
となります

※原則として、年間予約購読(前
納)の中途解約はできません。
※1冊からでもご購読できます。

ペキリトリ

郵便はがき

6	8	2	8	7	9	0
---	---	---	---	---	---	---

料金受取人払郵便

倉吉局
承認
872

差出有効期間
2025年2月
7日まで
切手不要

鳥取中央農業協同組合

総務部
広報課
宛

倉吉市越殿町1409

住所	
氏名	
電話番号	

※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。